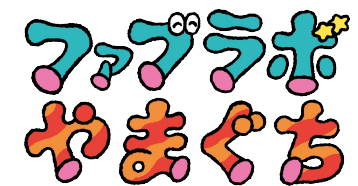


デジタル刺繍ミシン 使用マニュアル






brother innovis D400J / 刺繍プロ

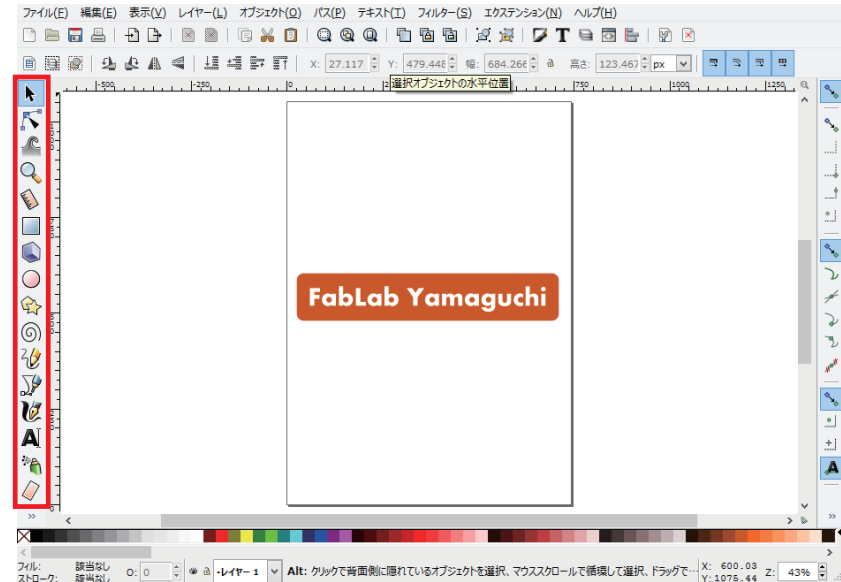


01 : Inkscape / 基本操作

基本ツール一覧

基本的に使用するツール一覧
この中からアイコンを選択して使用します

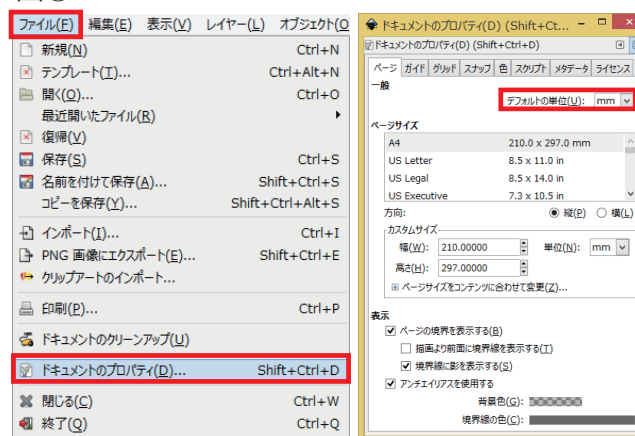
	選択ツール オブジェクトを選択、移動、変形させる事が出来るツール
	長方形ツール 長方形を描くツール
	円形ツール 円、楕円を描くツール
	多角形ツール 多角形、星を描くツール
	テキストツール 文字を入力するツール



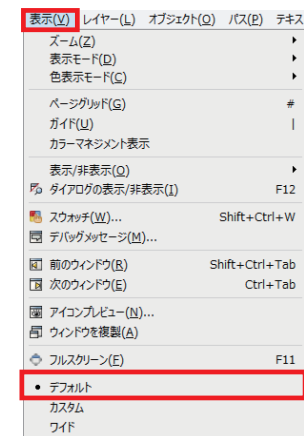
02 : はじめの設定

- 図① [ファイル]→[ドキュメントのプロパティ]
表示の単位を [px] から [mm] に変更します
- 図② [表示]→[デフォルト]にチェックを入れます

図①



図②

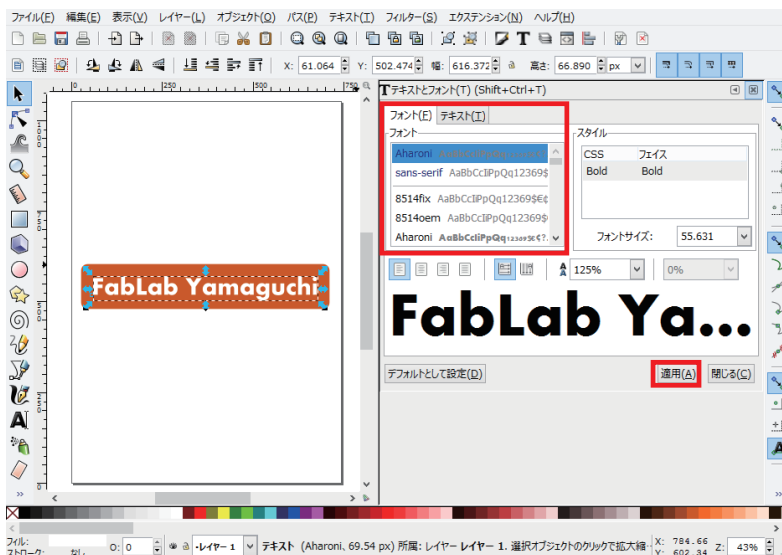


03：書体の変更

① [テキスト] → [テキストとフォント]

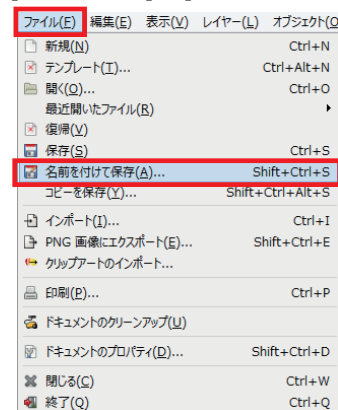


② フォントから書体を選択し、[適用]を押すと
選択した書体が変わります

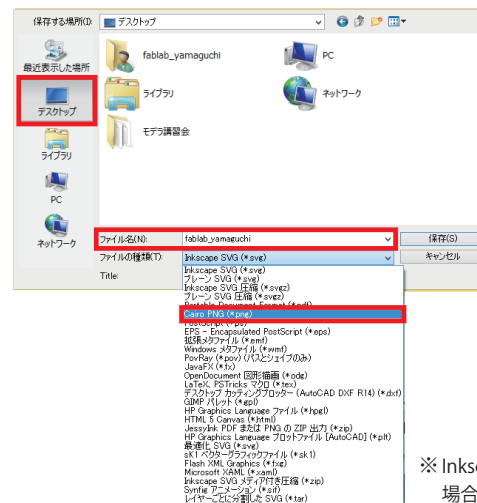


04：ファイルの保存

① [ファイル] → [名前をつけて保存]





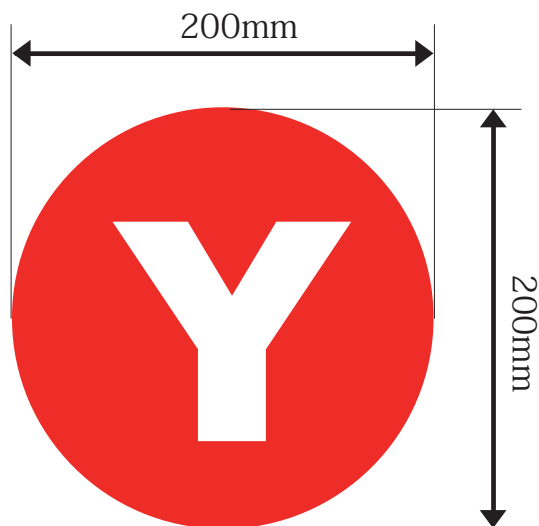
② ファイル名を決め、保存の形式を [.png] を
選択し、デスクトップにデータを保存します



※ Inkscape でデータを再度開く
場合は [.svg] で保存してください

05：出力データの作成

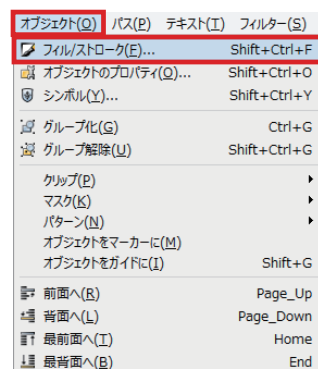
- ①  円形ツールで 200×200mm の円を 1 つ 出してください
- ②  テキストツールを選択し、円の中に 収まるように好きなアルファベットを 1 文字 入力します




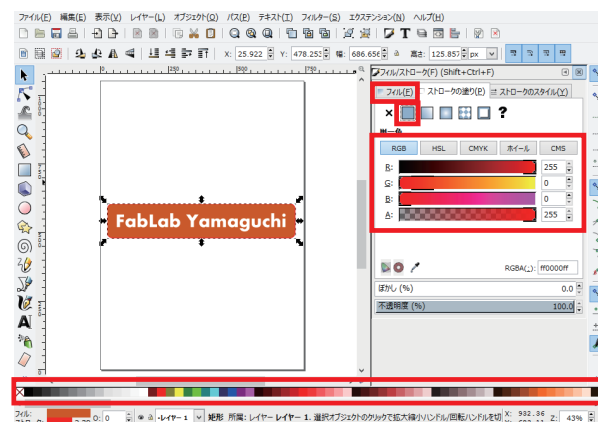
- ③ 刺繍用のデータを [.png] で保存をします
- ④ 保存をした [.png] データを USB に保存します

06：色の設定

- ① [オブジェクト]→[フィルとストローク]



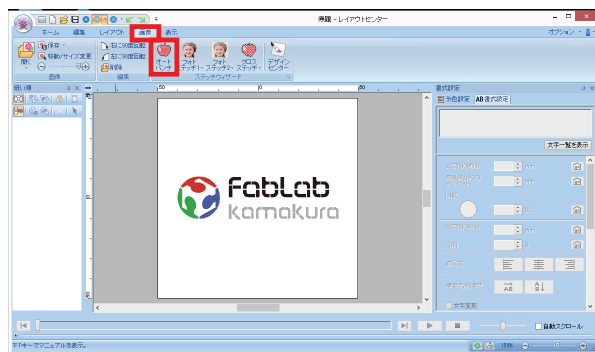
- ② [フィル]→  を選択し、RGB の数値を 変更すると塗りの色が変わります



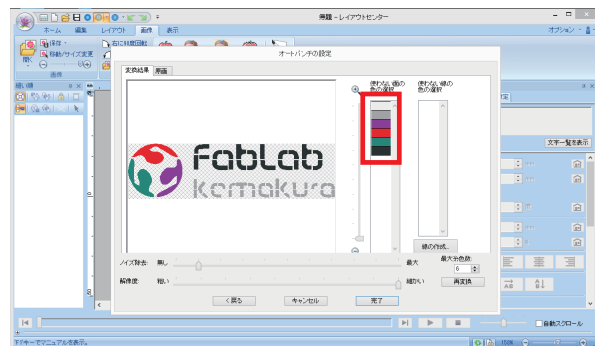
※下のカラーパレットからも色を変更する事ができます

刺繍プロ / データの変換

- 01：刺繍プロを立ち上げます
- 02：[画像]→[開く]→[ファイル]→[○○○.png]
自分で作成した画像のデータを開きます
- 03：[画像]→[オートパンチ]を選択し、画像を刺繍
データに変換します

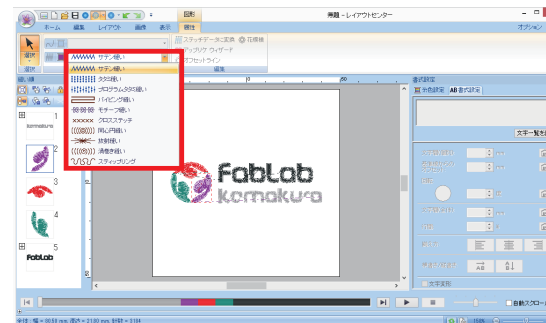


- 04：出力をしなくても良い色をクリックしておきます



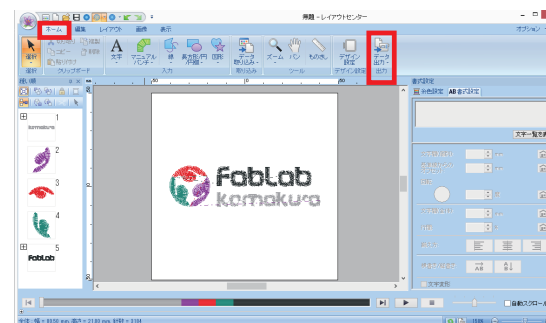
- 05：刺繍の大きさを調節します

- 06：各パーツの縫い方を設定します
縫い方を変更したいデータを [縫い順] から選択すると、
[属性] タブから縫い方を変更することができます



- 07：各パーツの縫う順番を設定します
縫う順番を変更したいパーツを、画面左にある [縫い順]
の中からドラッグをして順番を変更するか、右クリックの
メニューから変更します

- 08：[ホーム]のタブに戻り、[データ出力]→[マシン]
を選択します



09：Innovis D400J の電源を入れます

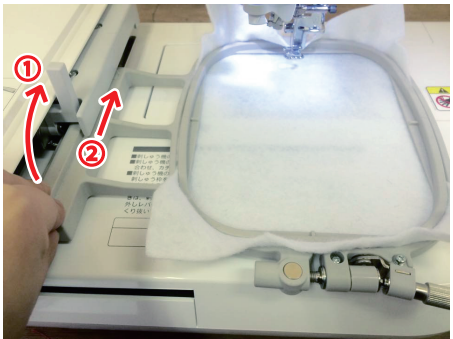
10：枠にフェルトをセッティングします
ネジをゆるめ、内枠と外枠の間にフェルトを挟みます



11：ネジを締め、フェルトの端を引っ張り、張りを強くします
※張りがゆるいと引きつれてしまう原因になります

12： ボタンを押し、枠を入れるために押えを上げます

13：①レバーを上げ、②枠を溝に合わせてスライドさせ、ミシンにセットします




14：キャリッジのレバーを下げ、枠を固定します



15：上糸を番号順にかけていきます

16：ボビンをミシンに描いてある図の通りにセットします

17： を選択し、出力したいデータを選択します

18：操作画面の [縫製] を押します

19： ボタンを押し、押えを下げます

20： スタートボタンを押すと出力が始まります

21：1色目の出力が完了したら上糸を交換します

22：2色目の出力が終わったら完成です！

